

北広島市長 上野 正三 様

北広島の豊かなみどりを育む会

北広島の豊かな自然環境を未来に守り継ぐ取り組みについての要望

私たちは、身近にある北広島の豊かなみどりはじめ、多くの生き物や自然の恵みを未来に守り継ぐため、観察会等の活動に取り組んでいます。

2023年3月のボールパーク開業に向けてアクセス道路等の建設がすすみ、広大な面積の森や湿地が開発されています。特別天然記念物の追加指定や希少生物の移植等、生態系への影響を抑えるための対策が行われているとはいえ、建設地周辺は多くの野生動物が生息する広大な森が存在していることから、その影響は回避できません。都市開発や居住環境の充実と同時に、より一層の自然環境の保全に取り組むことが重要と考えます。

今回、北広島の自然を代表する野幌原始林及び、アクセス道路建設に関わる情報を共有するため、「北広島の自然環境についてのアンケート」を実施しました（回答163名）。その結果をふまえ、北広島の豊かな自然環境を未来に守り継ぐ取り組みについて、下記の通り要望いたします。

※別紙アンケート集計資料添付

記

1. 自然環境に影響する開発事業について、事業確定の前の段階で、工事概要をはじめ環境調査計画及び保全計画等、市民への詳細な情報発信を行ってください。市民への情報発信については、説明会を含め市民意見を募る機会を設けるとともに、関連情報が近隣地域の住民にも周知されるよう、市町村と連携・共有を図ってください。
2. 開発に伴う自然環境への影響を評価するため、ボールパーク建設、アクセス道路建設及び、開業に伴い顕在化が予想される野生動物の事故や生態系の変化についてデータを把握し、市民にも情報を提供してください。また、野生動物の事故や生態系への影響が回避される対策を講じるよう、企業にも求めてください。
3. 北広島の自然の豊かさについて広く市民に周知し、環境保全意識が次世代へ継承するよう、市民による観察会の実施や保全活動との連携等を市民協働ですすめてください。
4. 自然環境の保全を重視した北広島独自の観光資源の創出を検討してください。北広島の自然情報の一元化や散策ルートの創出及び、市民ネイチャーガイドの育成等、自然フィールドの知見を持つ市民の参画のもと取り組んでください。
5. 市道西裏線の建設について、自然保護の観点から自然保護団体や有識者からなる監視委員会や協議会を設置しモニタリングを並行させる等、保全に十分配慮してください。

以上